

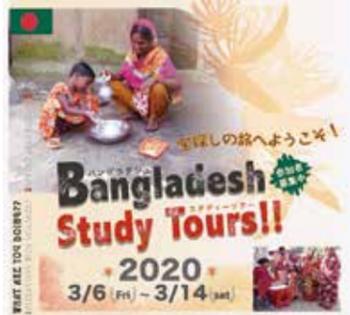
ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓蒙を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18か国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。

わたしから始める、世界が変わる

# Hunger Zero News

2019.12 No.353

ハンガーゼロ・ニュース



**2020年3月バングラデシュ・スタディーツアー 最終案内!**  
 日程: 2020年3月6~14日(9日間)  
 費用: 19万5,000円

※早割: 19万円(12月20日申込まで)  
 その他諸費用がかかります。

募集人数: 12人(最少催行人数10人)  
 活動内容: FHバングラデシュの活動視察。マチュパラ地区でのサポートチャイルドの活動視察、子どもたちの家庭訪問、異文化交流や伝統工芸作りの体験などを予定しています。

募集締め切り: 2020年1月6日  
 問い合わせ: 東京事務所

## キングダムビジネスから年末はとくにお早めに

贈り物にどうぞ  
**フェアトレードのココアとチョコ**  
 【内容】ココア1袋780円、チョコレート2枚(内容おまかせ)760円。  
 送料520円/税込2,060円でお届け。



チャイルドサポーターは2,000円でお届けします。(要支援者番号) 歳末の為、到着日の指定はご容赦ください。

・お届けは日本国内に限ります。

## 好評 ハンガーゼロカレンダー 2020年版「地球家族」

従来のB4サイズを見直してA4サイズ(掲示時はA3サイズ)に改訂、送料込みの価格が実現しました。(但し例外もあります。下記参照)

【価格】1冊1,100円(税、送料込)  
 ※国内へのお届けに限ります。

※3冊までは郵便、レターパックで送料込みでお届け。(沖縄・北海道も含む)  
 ※4冊以上は宅配便で送料込みでお届け。恐れ入りますが北海道と沖縄は1梱包つき800円をご負担いただけます。

※ココアとチョコ&カレンダー共通

【お支払い】後払い

お申し込み: (株)キングダムビジネス  
 スマートフォンは下記QRコードから  
 電話注文: 06-6755-4877

本年もご愛顧頂き有難うございました。迎える年も宜しくお願ひ申し上げます。



## クリスマスイベントでアフリカ支援

コイノニア福音教会は12月の「クリスマス・セレブレーション」でチャリティ募金をしていただきます。同イベントは誰でも参加でき、音楽とダンス、劇など多彩なプログラムで多数の来会者があります。ハンガーゼロもブース出展します。詳細は同教会のHPまで。  
 日時: 12月21日(土)16~18時(無料)  
 会場: 西宮市民会館アミティホール

## ワンワールドフェスティバルフォーユース ONE WORLD FESTIVAL for Youth

高校生のための  
 国際交流・国際協力 EXPO 2019

12月15日(日)10時から16時  
 高校生が国際課題の理解を深め、国際協力を身近に感じる場です。楽しい体験型プログラムも有。  
**ハンガーゼロもブース出展します。会場でお会いしましょう!**

会場: 大阪 YMCA  
 大阪市西区土佐堀1-5-6  
 連絡先: 大阪市北区茶屋町2-30  
 4階(関西 NGO 協議会)  
 TEL: 06-6377-5144



## サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

氏名	
(TEL)	
住所	
申込日	年 月 日 NL 353号
<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月( )円(1口1,000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFHサポーター)として協力します。 毎月( )円(1口500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落し申込書を送って下さい。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... **4678**口



写真・ルワンダの農夫

1分間に17人(内12人が子ども)  
 1日に2万5,000人が  
 1年間では約1,000万人が  
 飢えのために生命を失っています

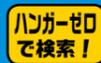


## Contents

台風被災者緊急募金 活動報告  
 【クリスマス募金】P.3-5  
**クリスマスの恵みをアフリカへ**  
 子どもニュース89号 P.6-7  
**学校に行けない子どもたち**  
 漫画・みなみなみ

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>  
 eメールアドレス [general@jifh.org](mailto:general@jifh.org)  
 フェイスブック facebookでハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト  
 ①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
 ②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1  
 TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155  
 東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室  
 TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782  
 愛知 〒460-0012 名古屋市中区千代田2-19-16 千代田ビル3F  
 TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132  
 沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾンク米202号  
 TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216  
 U.S.A Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa  
 8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605  
 TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940



●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに746255ポイント(円)のご協力(8884件)がありました。Tポイント募金で検索。  
 ●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。



写真：北信キリスト教会災害対策室

## 台風被災者緊急募金へのご協力を感謝いたします [活動報告]

相次いで東日本を襲った台風により被害が広範囲に拡大する中、ハンガーゼロは9月下旬から11月まで、緊急支援班リーダーの伊東を含むスタッフ3名を2つの被災地に派遣。ボランティア事務局の運営や現場での活動を行いました。

### 特別養護老人ホームの復旧をサポート

ハンガーゼロでは、地元教会ネットワークからの要請を受け、埼玉県川越市の川越キングス・ガーデンの復旧サポートに10月16日から3日間入らせていただきました。当時、120人の入居者がおられた当施設。10月13日午前2時頃に、職員が水の音に気が付き平屋建物から廊下で繋がる3階建て別棟に入居者を避難させ、1人の犠牲者も出ていません。しかし建物は大きな浸水被害を受けています。入居者は近隣の施設に受け入れてもらっていますが、1日でも早い復旧が望まれ、ハンガーゼロはボランティアの受け入れ体制作りを職員の皆さんと担わせていただきました。施設関係者、近隣住民、社会福祉協議会からのボランティア、地元教会メンバーと非常に多くの方が来て職員の方々と共に施設内を片付け、泥の掃き出しをしてくださいました。施設の清掃だけでなく、坂戸キリスト教会では職員とボランティアさんのために毎日100食分の温かい昼食を届けてくださいました。非常に大きな施設なので、ボランティアでできることは、物品の片づけと泥の掻き出しくらいで、その後は建設業者にバトンタッチとなりました。

### 長野県で住宅浸水被害者の清掃支援

翌日、同じく地元教会ネットワークの北信伝道協力会から支援要請があり長野市に向かいました。活動は10月30日から11月末までの1ヶ月で、追加派遣としてスタッフの孫と安達が加わりました。最初に入ったお宅は、豊野町にあり、浅川の氾濫で床上2m30cmの浸水です。住人は早目に避難されたので命は助かりました。すでに知人の方々の手で、泥を被った畳や家具類は撤去され、床下の泥だしはほぼ終わっていました。

家主さんから、「またこの場所に住みたい」という気持ち

ちを伺い、再スタートができるように床下の泥だしだけでなく、壁の撤去も始めました。大勢のボランティアさんの手で、毎日毎日1枚、1枚と壁が取り壊され、残っていた家具類もすべて運び出されました。これでカビの



溜まった泥を出す作業をする伊東

増殖を抑えることができます。(この後は、専門業者による消毒が必要です)。後は窓サッシなどに入り込んだ泥を丁寧にふき取り、業者さんが入れるようにしておくことまでがボランティアとしてできることです。家主さんが、1日でも早く自宅に戻れるようにと活動をしています。

(報告・緊急支援班伊東綾)

### 孫雪／緊急支援に初めて派遣されて学んだこと

緊急支援活動にスタッフとして初めて参加しました。長野の災害支援室運営担当の伊東スタッフの補佐と現場作業に携わりました。浸水住宅での活動と聞き、女性にできるか不安でしたが、現場に行ってみて災害の後処理は機器だけで決して解決できるものではなく、人の力が絶対に必要なこと、そして泥を被った柱や壁を雑巾がけする作業などの細かい作業に女性のカも不可欠であることを実感しました。また様々なボランティアさんとの交流や情報交換を通じて多くの気づきもあり、貴重な経験をさせていただきました。



### 緊急支援募金を受付中(12月末まで)

緊急募金は、郵便振替又はウェブサイトからクレジットカード決済がご利用できます。

ウェブサイト <https://www.jifh.org>

郵便振替 00170-9-68590 日本国際飢餓対策機構

※記入欄に必ず「2019年台風被災者緊急募金」と明記

## 防災・減災

毎年発生する自然災害。日ごろからの備えをして必要があることを今回も経験させられています。ハンガーゼロでは災害に備える準備のための学びの場を提供していますので、関心のある方は、[general@jifh.org](mailto:general@jifh.org) までお問い合わせください。

コンゴ民主共和国  
ジェローム  
駐在スタッフ  
世界食料デー  
現地報告から



世界食料デー奈良大会での現地報告

## 固定観念からの解放！そこから始まるコミュニティの変革

今年の「世界食料デー大会」において、ハンガーゼロの協力団体「HOLC」(ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ)の取り組みについて、コンゴ民主共和国駐在員ジェローム・カセバが報告をしました。その要旨をお伝えします。

### コンゴ民主共和国(中部アフリカ)の概要と現状

首都はキンシャサ。1960年にベルギーから独立、公用語はフランス語。面積は234万4,858km<sup>2</sup>で日本の6倍。人口は約7,550万人。9ヶ国と国境を接しています。

コンゴは、豊かな自然に恵まれ、コバルトやタンタル、銅、ダイヤモンドなどの世界屈指の天然資源埋蔵量を誇る資源大国ですが、1960年の独立時からその利権を目的に諸外国の介入を受け、1990年代には近隣諸国が同国東部の資源利権を奪い合うコンゴ大戦も発生しました。この紛争では500万人以上の犠牲者が出ました。また多くの女性や子ども(年間4万人)が性的暴力の犠牲になりました。2017年の国連人間開発指数は、世界189ヶ国中176位。

東部では今も紛争が続いていて、280万人が国内避難民(2014年現在)となっています。

### 国内避難民パメラさんの取り組みが5つの村に拡大

2013年、部族間紛争に巻き込まれた130人あまりの人たちが、徒歩で500km離れた第2の都ルブンバシに避難してきていました。その避難民のリーダー・パメラさんが、ハンガーゼロの主催で開かれた地域変革(VOC)セミナーに参加しました。それまで多くの困難の中で無力さを経験してきたパメラさんは、このセミナーで「ないもの」ではなく、自分たちに「あるもの」、そこにある資源

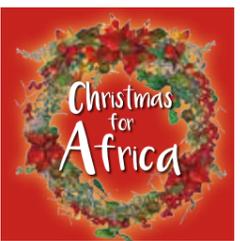
を利用して何かを始める、ということに思い至りました。それを実行しようと、元住んでいた村の近くのプエト地域で、一緒に避難していた人たちと共同農業を始めました。栽培したものを家庭で消費し、残りを売って生活が変化しました。

当初の目標の1日2食食べられることを達成、生活の安定と村の全ての子どもたちを学校に通わせることを目標に、家畜の飼育や換金作物の栽培など地域にあ



換金作物の栽培など持続可能な地域開発が進む

る資源を用いて、持続可能な地域開発に取り組んでいます。パメラさんのプロジェクトは村のモデルとして1つの村から5つの村に広がっており、ハンガーゼロはこの取り組みを支援しています。



コンゴにおけるプロジェクトは2019年のクリスマス募金で応援ができます。(次頁参照)

飢餓・貧困のないハンガーゼロ実現のために  
ぜひ応援をお願いいたします



# Christmas for Africa

クリスマスの恵みをアフリカへ



コンゴ民主共和国  
(コミュニティ変革支援)



南スーダン  
(子ども給食支援)

エチオピア  
(エイズ孤児支援)

ケニア  
(子ども給食支援)

ルワンダ  
(農業支援)

モザンビーク  
(サイクロン被災者支援)



## Christmas for Africa 主な募金先



### 南スーダン/South Sudan

※[ ]は協力パートナー他

[ライフ・イン・アバンドンス] (西レイク洲、ルンベック) マブイ小学校の給食支援。445人の生徒を対象としたこの給食によって空腹のために授業に集中できなかった子どもの学習意欲が上がり、中途退学も減っています。給食用の野菜を自分たちで育てることが始められています。



南スーダン

### エチオピア/Ethiopia

[FHエチオピア] アムハラ州南ゴンダールにおいてFH エチオピアと協力し、エイズ孤児や極貧家庭の子どもたちが、明るい未来を描くことができるように、子どもとその家庭や学校を訪問するソーシャルワーカーの配置などの教育支援、病気の治療費や保健衛生、栄養改善、生計基盤の改善のサポートを行っています。



エチオピア

### ケニア/Kenya

[FHケニア] メルーカウンティ・ブウリ地区の子どもたちが清潔な環境で安心して勉強を続けられるように、トイレや貯水タンクなど学校に必要な設備を設置する支援。また、設置した設備を適切に管理していくための学校健康クラブ活動のための支援。

[シープケア学校] ナイロビ市ソウエトのスラムに暮らす子どもたちのための学校給食支援。その学校給食を自分たちで継続していくことを目指して、バス事業をシープケア・コミュニティ・センターが考え実施してします。

[コイノニア教育センター] ナイロビ市のキバガレスラムから通っている子どもたちなど403人の給食支援。



ケニア

### ルワンダ/Rwanda

[FHルワンダ] 収入向上と生活の安定を目指し、東部州ニャギハンガの小規模農家(100戸)を対象とした農業トレーニングとサポートを行っています。選抜されたモデル農家10戸を対象に有機農業のトレーニングも実施。

[ピース国際学校] 南部州ニャンザの貧困家庭の子どもたちが小学校を卒業するまで学校に通い続けられるように学費の支援。



ルワンダ

### コンゴ民主共和国/D.R.Congo

[ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ] カタンガ州プウェトでの部族間紛争によって国内避難民となった人々が始めた共同農園が、近隣の5つの村に広がっています。この地域開発の取り組みを広げるために地域リーダーの育成を支援します。

キンシャサ: 孤児院での給食(週2回)支援、給食の持続可能性のための農業支援。  
ルブンバシ: 日曜学校での給食(週2回)支援。  
カレミ: ピグミー族とバントゥー族の対立が続くこの地で、プウェトのような持続可能な地域開発のモデルコミュニティが始まることを目指して、部族間紛争に巻き込まれて国内避難民となった人々との関係づくりを開始。部族間の和解のためのセミナーや働きかけを予定しています。



コンゴ民主共和国

### モザンビーク/Mozambique

[FHモザンビーク] 2019年3月にアフリカ南部を襲ったサイクロン・イダイによって、破壊された学校建物はモザンビークで3,344校に及びます。このことから学校の再建などの支援を行っています。



モザンビーク



募金方法は3通り▶

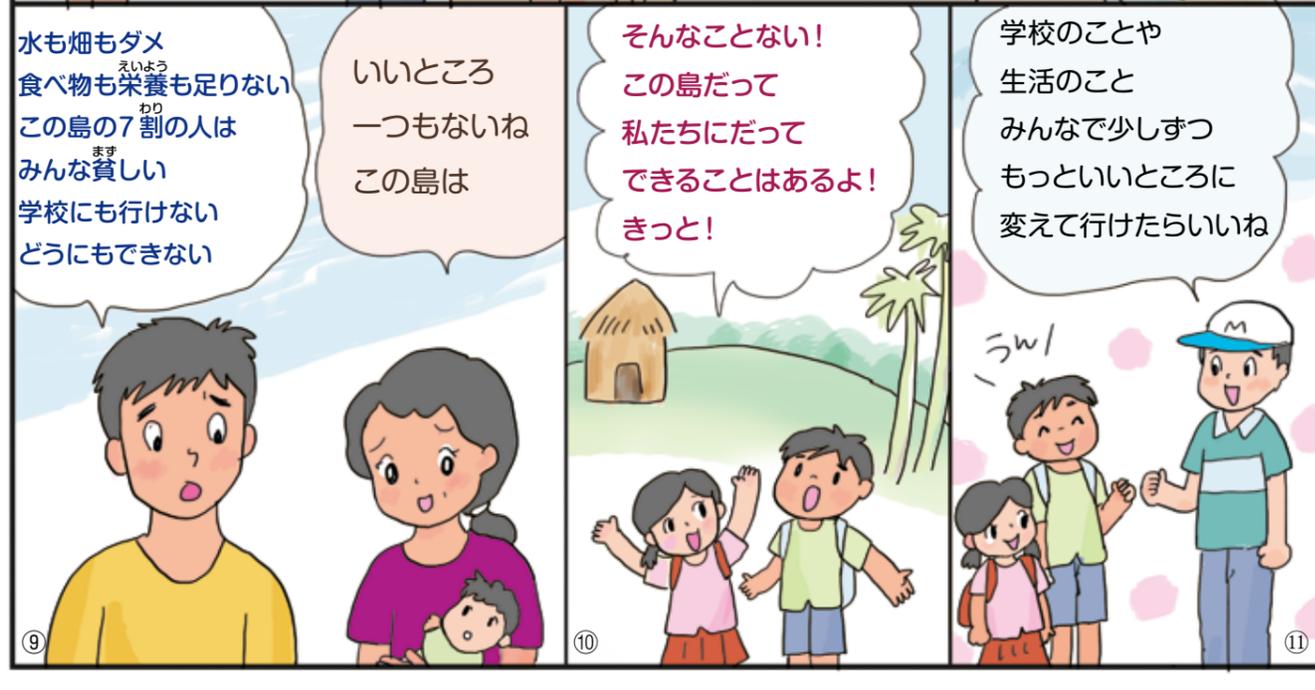
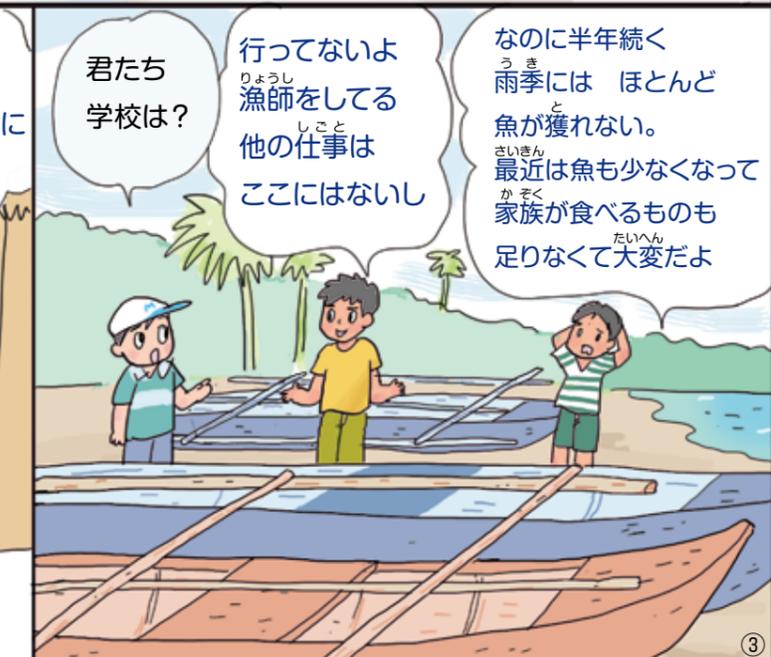
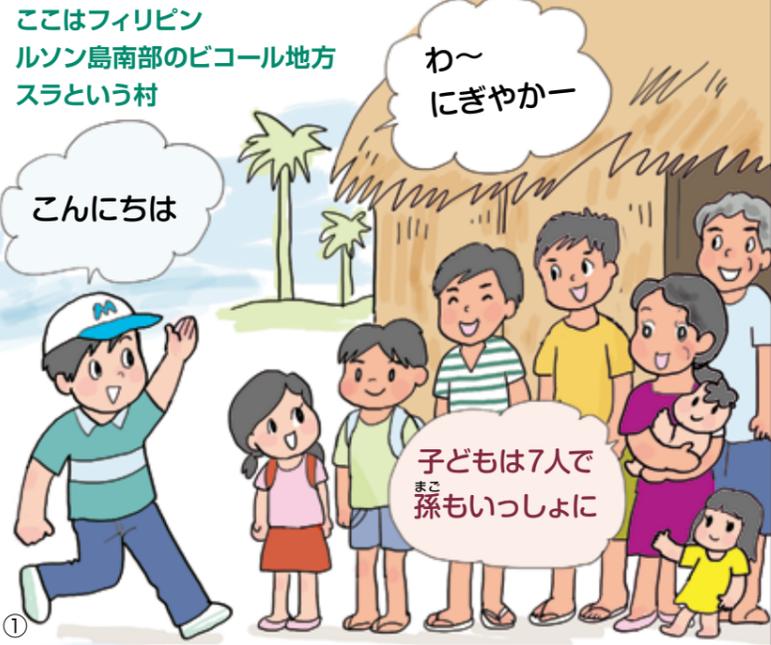
- ① 郵便振替  
00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構「クリスマス募金」と明記
- ② WEBサイト  
「ハンガーゼロ」で検索し、公式ホームページに入り、クレジットカードを利用。スマホは左頁のQRから入れます。(注)WEBからの募金受付は12月から
- ③ お電話でも受付いたします  
大阪事務所 TEL.072-920-2255又は各事務所までご連絡ください。

ハンガーゼロでは毎月1千円からの継続支援「ハンガーゼロ・サポーター」も募集中です。詳しくはウェブサイトから

# 学校に行けない子どもたち

## ⑤ フィリピン・スラの子どもたち

みなみなみ



### スラの子どもたち

スラの子どもたちの生活が少しでも良くなって、もっと勉強をすることができるようにFHフィリピンやチャイルドサポーターさん、教会の人たちが手を差し伸べています。

**貯蓄グループ**：人々は苦しい生活の中からみんなで少しずつお金を出し合って貯蓄し、それを借りてヤギの飼育をはじめたり、小さな店を開いたり、野菜を作って販売したりして収入を増やしています。また教育費や病気になったとき治療を受けるためにも使われています。  
**健康を守る**：手を洗うこと、病気の予防や治療に対する知識や栄養について大人も子どもも共に学んで実行、みんなが健康に生活できるよう努力しています。  
**教育**：台風で壊れた学校をFHと日本の教会の人たちの支援を受けて建て直し、はじめて図書館（右の写真）もできました。

